



## 2/4 水戸市いっせい防災訓練・ギョッと!おにぎりの日

**1の1鈴木さん:**放射線、地震がどれだけ怖いことなのか分かりました。いつ、どこで起きるか想定もできないので、地震が起きたらすぐに頭や自分の身を守ります。放射線は匂いもなく、味もないものなので、すぐ窓を閉めたり外に居たら建物の中に入ったりと素早く行動したいです。

**1の2齋藤さん:**私はこの体験で、地震の恐怖を知りました。東日本大震災のときは、このような形ではなく、突然、大きな地震が来たと聞いています。私はこれを聞いて恐ろしく、とても怖く思いました。地震が起きたら、安全に落ち着いて、避難行動をするよう意識したいです。

**1の3市村さん:**今回の防災訓練で、地震の放送があったときに自主的にすぐ机の下に隠れることができました。また、放射線のときには席が窓側なので、窓の確認をしました。もしものことを考え、窓から少し距離をとるなど自分で考え行動することができました。本当にこのようなことがあったら大人の指示に従いつつ、自分で今何をすべきかを考え、素早く行動することが大切だと思いました。

**1の4鈴木(真)さん:**いつ原子力災害があってもいように子供を受け入れてくれる家を最初から探しておいて、いざというときにかけこむようにする。地震では、教室にいたら素早く机の下に隠れることを意識してパニックにならないように次の指示が出るまで待機をしているようにする。

**2の1岡田さん:**今回は防災訓練で自分たちが外にいるときに、地震から原子力災害が起こった場合の避難訓練の仕方、原子力災害のときは外で隠れるのではなく、室内に入って窓を閉めることが分かった。今回はあまり緊張感をもって取り組むことができなかったのも、もし、実際にこのようなことが起きたときには素早く判断してしっかり対応できるようにしたい。

**2の2河上さん:**地震が起きたとき、どのように行動するのが正解か、改めて学ぶことができました。原子力災害が起きたときどのような行動をすればよいか詳しく知らなかったのも、今回の訓練で学ぶことができよかったです。校庭や体育館にいる場合も、放射性物質を浴びないように速やかに教室へ避難することを学べたので、災害時に向けてしっかり覚えておきたいと思います。

**2の3益子さん:**僕は、今日水戸市いっせい防災訓練及び第3回避難訓練をやって、地震が起きたときの避難の仕方や自分の身を守る方法を再度しっかりと学ぶことができました。原子力災害の避難訓練では少し緊張したけど避難の仕方を知ることができてよかったです。この経験を生かして、大きな地震や原子力災害が実際に起きてしまってもあわてず、訓練で学んだことを生かしていきたいと思いました。

**2の4飯田さん:**今回いつもの地震避難訓練のほかに原子力災害の訓練もあって、いつもとは感覚が違う訓練になりました。原子力災害の訓練では窓を閉めるだけでなく、エアコンや換気扇を止める必要があると感じました。訓練はもう何十回もやってきたけれど、一回でも多くすることで、いくつもの命を救えるなら今後も真剣に取り組んでいきたいと思いました。

**3の1渡邊さん:**水戸市いっせい防災訓練・避難訓練を、地震と原子力災害を想定して行いました。原子力災害が起こった場合、水戸は30kmの範囲の中にあるのだと今回の講話で知ることができました。災害はいつ、どこで発生してしまうか誰にも分かりません。なので、いつ発生しても、しっかりと対応ができるように、今回の訓練に取り組むことができたと思います。

**3の2浅井さん:**今回の防災訓練では話をせずに真剣に取り組むことができました。放送が入った後に素早く机の下に入ることができました。教頭先生から原子力災害についての講話を聴いてより意識が高まりました。今回の経験を生かして災害が起こったときには今日のような行動ができるといいです。

**3の3大内さん:**私は今日の防災訓練を行って改めて訓練することの大切さを学びました。地震が起こったときに焦らず対応し、瞬時に身を守る体勢をとれるように日頃からやっておくべきだと思いました。また、水戸市は東海村の原子力発電所から30km圏内にあたるため放射線にも気を付けることが必要だと学びました。

**3の4嶋田さん:**今回の防災訓練は、意味のある訓練にすることができたと思います。特に、原子力についての教頭先生の話はとても興味深いお話で、集中して聴くことができました。3年生になると何回も避難訓練を経験しているので、適当になりがちですが、私はきちんと行うことができました。机の下にもぐったことで腰が痛いですが、真剣に訓練ができてよかったです。

